



# コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレター No. 140

2015年12月



## インターアクションを終えて (準備段階)

コルネリオ会 会長 石川 信隆

この度、コルネリオ会主催で2015年9月10日-12日の間、東アジア軍人クリスチャンのインターアクション(研修会)を東京両国で実施しました。無事に祝福のうちに終了できましたことを、主と皆様に感謝します。参加者一同、特に東アジア会長が大変喜んでくださいました。今回のテーマは「All One in Christ Jesus」 with Love」(キリスト・イエスにあって、愛を以て一つです。ガラテヤ3:28)としました。

以下、準備段階、実施段階、今後の展望の3つの面から感想を述べたいと思います。

### 1. 準備段階

#### (1) 気持ちの問題

私が2回目のコルネリオ会会長に就任したのが、約2年前の2013年5月でした。早速、インターアクションの計画などに取り掛かりましたが、何の目的でやるのか、やる必要があるのか、こんな小さなグループで何ができるのか、正直自分自身あまり気乗りがしませんでした。しかし、昨年12月ケープタウンでの世界大会で、東アジア各国に日本開催を宣言してしまった手前、実施せざるを得ず、場所の設定、計画作成、担当者の決定、テキスト作成、プログラムの作成に取り組みました。

#### (2) 日本へのビザ申請

中央アジア(カザフスタン、キルギスタン)やモンゴルの方は日本へ来るためにビザが必要であり、その申請書類の作成、送付など、7月-8月の2ヶ月間はこの準備に没頭しました。交信はすべて英語で行いましたが、キルギスタンの方はロシア語しか理解できないので、カザフスタンの方を通じて、交信しました。

まず7月14日に郵便局から4人分の書類をカザフスタン・キルギスタンに送りました。しかし、2週間、3週間経っても着いたという返事が無く、1ヶ月経っても何の返事でもありませんでした。どうなったかというメールを出したところ、コピーをメールで送ってくれたので、送りましたが、日本大使館はコピーは受け付けないということで、原本を再度書留で送りましたが結局それも届きませんでした。

最後に、DHL(国際宅急便)で送れという指示が来ましたので、その会社を探して本社が品川にあることを知り、8月14日に品川へ行って送りました。しかし、招待状にコルネリオ会のスタンプが必要であるという日本大使館の要請で、スタンプを押して再び8月21日品川まで送りに行きました。DHLだと約5日間かかったようでした。やっとVisaが下りたという報告が来たのは、開会1週間前の9月3日でした。

あとで聞くと、日本大使館まで行くのにバスで20時間かかったと、カザフスタンの人は笑いながら話してくれました。ですから彼らもビザ取得のため泊まりがけで2回も行ってくれたようです。

モンゴルの方は、担当者が会議前にアメリカに行き、帰国後入院して、のんびりしてやっと3人のビザが下りたと9月3日に言ってきました。さらに、モンゴルの1人は、奥さんの出産が迫っているのでキャンセルしたいと言って来ました。早速、ホテルの予約、食事の予約など、すべてキャンセルを依頼しました。

このVisa取得の過程で、私は「忍耐」を学びました。『愛は寛容であり(英語ではLove is Patient)、親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢に

なりません。』( I コリント 13:4 ) というみことばが身にしみました。

神様は私に愛が忍耐であることを、実体験を通して教えて下さったのです。

イエス様は、私の罪のために、ローマ兵になぐられ、十字架という磔の刑に処せられました。それに比べれば、品川まで手紙を送りに行くぐらいなんでもありません。相手からの報告がなくても、参加者 1 人が突然キャンセルになっても私のいのちを奪われることもありません

イエス様の痛み、苦しみに比べれば、私の苦労など何億分の 1 にも相当しません。

聖書には「神は愛です」と書かれています。

自己中心の自分(心も体も)を捨てて、他人のために、ひいては世界平和のために自分自身を捧げること、これこそ、今回の東アジア軍人クリスチャン研修会の目的だったということを実感しました。彼らが会場に現れた時、それこそハグして良く来てくれたと、主に感謝しました。

### (3) 日本への航空賃

今回、参加者の航空賃はすべて自己負担としました。当初、東アジア会長から中央アジアとモンゴルの航空賃も負担してくれないか、という打診がありましたが、コルネリオ会の財政状況からお断りしました。

キルギスタンは、会議 5 日前、既に予約していた航空便が、お金を払っていなかったためキャンセルになってしまったと言ってきました。そのため、当初の航空便の帰りが羽田発 0620 であり、羽田ロイヤルホテルを予約して支払いも済ませていたので、至急キャンセルを関兄に依頼しました。このことは、「All One in Jesus Christ with Love」の実現のためには、忍耐と寛容が必要であることを教えられました。

### (4) テキストの作成

テキスト作成には、最初圓林兄が原稿の編集、次に私が修正作業で完成させました(合計 114 ページ)。そしてそれを金学根牧師にお願いして印刷(韓国)を依頼しました。しかし、ページ数が多すぎる、鮮明でないという理由で、金先生が自ら手直しをして約 80 ページに短縮してくれました。その際、東アジア会長から依頼された文章の 1 行「We can not prayer except by

Praying」の except (当初抜けていた)を入れるのを忘れていました。そのため、この 1 行を入れるため、シール用紙を 100 円ショップで買って来て、当日すぐ貼り付けるように準備しました。たった 1 行のミスのため、私の妹：中野のり子を呼び出し、滝口兄と 2 人で 50 冊分の張り付け作業をホテル会場で行ってもらったのでした。

### (5) 経済的な面

今回 Interaction では特別会計という形をとり、コルネリオ会の一般会計とは別会計としました。参加費は 2 泊 3 日で 25000 円としましたが、キルギスタン・カザフスタン・モンゴル(計 6 人)は無料としました。さらに、Instructor (Lee Kap Jin, Rick, Melissa, Mo, Jim, MSO 2 人 計 7 人) も無料。よって、合計 13 人は参加費無料としました。

しかし、これは失敗だったと後悔しました。理由は予算が不足、宿泊参加者全員から参加費をいただく形にして、謝礼という形で、Instructor へは差し上げるべきだったと思ったからです。ところが、主は献金という形で恵みをくださり、不足分を多くの献金によって満たしてくださいました。さらに心を痛めたのは、台湾の Mo 兄が子ども(Andy 11 歳)を連れてこられたことです。Mo 本人は Instructor で無料でしたが、子どもはどうするかで検討し、ホテル側では小学校から大人の料金を取るということで、子どもからも参加費 25000 円を徴収することにしました。Mo 兄はさらに \$85(10200 円)の献金をしてくれました。

今回、コルネリオ会の会員はもちろん、テモテ会の権国防武官・愈先生から、また馬堀聖書教会の姉妹などからも献金を賜り、ここに改めてお礼を申し上げる次第です。

### (5) 横断幕の準備

前日になって、何か横断幕が必要だろうと言うことに気が付き、ポスター用紙を買って来て、AMCF のモットーである「All One in Jesus Christ」 with Love を自筆で書き、それを会場であるエデン教会に当日中野兄に貼ってもらいました。この横断幕があるとないでは、会場の雰囲気が聖霊に包まれる状況が変わってくると思いました。

## (6) 空港出迎え

モンゴル2人とアメリカ ACCTS の Jim Greshel さん (帰国3週間後に天国へ旅立った)は中野兄が担当、カザフスタン1名と台湾2名は今市兄が担当しました。キルギスタン1名は英語ができないので、前日に到着したカザフスタンの Vissarion に成田まで出迎えに行ってもらいました。出迎えは、1時間以上経っても Gate になかなか現れずイライラしたそうですが、なんとか中野兄と今市兄および Vissarion は、忍耐を以て無事に教会まで連れて来てくれました。

また韓国団9名は、韓国大使館の権国防武官にお願いし、帰りの見送りもしてくれました。本当に感謝に堪えません。

## (7) 名札の準備

“All One in Jesus Christ” を言葉でなく、3日間同じ屋根の下に暮らす神の家族として過ごすため、お互いに Nickname か First name で呼び合うことにしたいと思いました。そのため名札に各自の Nickname を書くとして、アンケートを取ったところ、モンゴルや中央アジアはすぐに返事がきたが、韓国からは2名しか返事が来ませんでした。その理由を金先生に伺うと、韓国にはそのような Nickname を呼び合う習慣がない、ということでした。よって、名札は各国の習慣に従って書き (韓国は Lee Kap Jin のように、アメリカは Richard Ryles (Rick) ) のように、Nickname はカッコで書きました。

## (8) お土産

アジア大会では、いつも何か日本のお土産 (風呂敷、扇子、Tシャツなど) を贈る習慣があり、安くて記念になるものとなると、なかなか思い浮かばず、結局、防衛大の学生売店のマーク入りお菓子 (700円) を30個購入して、賞味期限を確認の上、宅配便で予めホテルへ送りました。 (次回へ続く)

## Interaction に参加して

コルネリオ会 会員 今市宗雄

最も感銘を受けたことは、台湾の Mo 兄による Conversational Prayer の講義のまとめに使用されたミレー作「晩鐘」からの各自への印象の質問であった。

私は、躊躇なく終わりに Humble と答え同時に「わたしは心優しく、へりくだって (gentle and humble) いるから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます (マタ 11:29)。」を想起した。

つぎに受けたことは、二日にわたるカザフスタンと台湾からの兄弟を成田空港へ出迎えた時の忍耐訓練であった。事後の予定が切迫しているため一刻も無駄なく送りたいと焦る気持ちと老いのセッカチとで、それぞれ前後の二時間は久方の試練であった。

最後に教えられたことは、主催サイドのオーソライズされた偶像概念の一致の大切さ、また計画段階における意見の集約化と実行時の分権の必要性を特に浅草ツアーにおける外国参加者からの反応を通して改めて痛感させられた。

## 2015年 Interaction に参加して

コルネリオ会 会員 関博之

2015年9月10日(木)から12日(土)にかけての3日間、エデン教会(東京都墨田区)で、東アジアを中心とした7か国からの28人の軍人クリスチャンの参加を得て Interaction を実施した。私は食事、経理、文化ツアーの奉仕の担当であり、基本的には裏方であった。感想はというと、限られた人員、予算の中で、Interaction が終わり、参加者も全員無事帰国してくれて良かったという安堵感が最初に出たというのが本音である。一方で、日本の National Report の発表も任せられ、各国にコルネリオ会の現状と今後の方針についてのプレゼンテーションができたことが、私にとって、今回の Interaction 最大の思い出となった。

National Report は、日本の順番が最後であったことを考慮して、分かりやすさと、興味を持ってもらえるような内容にすることに重点を置いた。おかげで、参加者たちからの反応は上々であったという認識である。プレゼンテーションにおいて私は、コルネリオ会は今後の基盤づくりのために「三位一体戦略」(The Trinity Strategy) を推し進めていくことを、各国からの参加者に宣言した。三位一体戦略とは、会員数の増加を目的とした「魅力化キャンペーン」(Attractiveness

Campaign)、若返りを目的とした「若返りキャンペーン」(Freshness Campaign)、眠っているクリスチャン自衛官をコルネリオ会の活動に参加するよう促進する「発掘キャンペーン」(Excavation Campaign)の3本で成り立つ戦略であり、今後のコルネリオ会の基盤を盤石のものとしていくための戦略である。この戦略については、各国軍人クリスチャンたちの理解を得ることができた。その成功とコルネリオ会の今後の繁栄を彼らが祈ってくれたことには、大いに力づけられた。

次に日本で東アジア大会が実施されるのは、4年後の2019年である。次回東アジア大会の時に、今よりも成長したコルネリオ会の姿を、参加者たちに見せたい。そのためにコルネリオ会への奉仕をこれからも継続していこうという、新たな決意を抱いた。「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせて下さるのです」(ピリピ人への手紙第2章第13節)。これが、私にとっての今回のInteractionでの最大の成果であったと考える。

交通費(今市兄成田出迎え)	¥18,040
ツアー(地下鉄)	¥3,600
ツアー(地下鉄)	¥900
ツアー(乗船代)	¥7,840
ガイド代	¥9,000
お土産代(防衛大お菓子)	¥21,778
国際宅急便(8/14 カザフ・キルギス)	¥11,700
国際宅急便(8/21 カザフ・キルギス)	¥11,700
郵便代(7/14 カザフ・キルギス)	¥1,070
郵便代(8/3 モンゴル)	¥990
羽田ホテル代(Vissarion Kim)	¥12,900
謝礼 徳梅先生	¥20,000
金学根先生	¥50,000
エデン教会	¥50,000
Pat Ayako	¥10,000
お茶菓子	¥7,597
見送り代(Jim 森川)	¥3,100
宅配便代(お菓子 防大一ホテル)	¥1,520
(残テキスト 両国-自宅)	¥1,088
インク代(芝兄)	¥1,806
NL印刷代(芝兄)	¥6,300
NL郵送代(芝兄)	¥16,072
(芝兄)	¥5,600
郵送書留料(8/9 カザフ・キルギス)	¥2,700
国際電話(中野兄 モンゴル等)	¥2,500
小計	¥827,225
2016年度への繰越	¥63,975
合計	¥891,200

## Interaction 会計報告

2015 Interaction Japan (軍人クリスチャンリーダー研修会の会計報告をいたします。会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

### 2015 AMCF EA Interaction 特別会計報告

1 収入	参加費 13人×25,000	¥325,000
	1人×8,000(森川兄)	¥8,000
献金	Lee KapJin	¥20,000
	Rick Melissa	¥40,000
	Jim Greshel	¥25,000
	ChoiYoon Soon	¥10,000
	Yoon Young Soo	¥10,000
	KVMCF	¥30,000
	Mo(Taiwan)	¥10,200
	愈先生・権武官	¥50,000
	圓林夫妻	¥150,000
	滝口兄	¥3,000
	繁田春代	¥10,000
コルネリオ会一般会計より		¥200,000
合計		¥891,200
2 支出	ホテル代(26人2泊)	¥312,000
	テキスト代(50冊)	¥62,000
	夕食代(9月10日35人分)	¥87,312
	夕食代(9月11日31人分)	¥48,050
	昼食代(9月11日30人分)	¥14,940
	昼食代(9月12日30人分)	¥14,940
	交通費(中野兄成田出迎え)	¥10,182



Interaction 参加者

### 献金感謝 (2015. 4. 1-2015. 11. 30)

いつもコルネリオ会を覚えていただき感謝致します。  
 矢田部稔、内山義彦・和子、関 博之、今市宗雄、  
 今村和男、桧原菜都子、吉田靖、谷岡博志、玉井佐源太、  
 長橋和彦、山崎 章、石井克直、兄弟団水戸教会、  
 瀬在道晴、西澤邦輔、宮下和之、磯崎健二、中村純誠、  
 中野久永、木下眞由美

(編集子)

愛する兄姉の尊い祈りとご支援に改めて感謝申し上げます。  
 良きクリスマス、年末年始をお迎えください。